

令和2年 3月17日

川崎市議会議長 山崎直史様

幸区

ゆきとどいた教育を

すすめる川崎市民の会

ほか 8,864名

少人数学級の推進と小学校に英語専科教員の加配を求める請願

請願の趣旨

本市では、小学生の約30%、中学生の約70%が36人以上の詰め込み学級で学んでいます。国の責任で、全ての子どもが35人以下の少人数学級で学べるようにすることを求めます。また、市独自でも35人以下学級の拡大を求めます。

2020年度（令和2年度）から新しい学習指導要領が全面実施となります。5～6年生では、教科としての外国語教育（英語）が、週2コマ（年間70時間が標準授業時数）始まります。中学校同様、小学校にも英語の免許を持った先生を加配して、教科としての外国語授業が進められるようにしてください。

請願事項

- 1 国の責任で35人以下学級を中学校3年生まで早期に実施するよう、国に対して意見書を提出すること。
- 2 当面、市独自で、小学校3年生と中学校1年生を35人以下学級にすること。
- 3 小学校英語の実施に当たっては、専科教員を加配すること。

紹介議員

宗田裕之